

2015年9月3日

キャノンデールでは、製品の品質と安全性を最も重要なものと考えています。当社は、最高レベルのパフォーマンスが要求されるライダーのために、世界トップクラスのバイク、コンポーネント、および部品を製造しています。

定期試験において、特定のマウンテンバイクに使用されている OPI ステム/ステアリングチューブの安全性に関する問題となりうる点が特定されました。当社は、該当する規制当局に通知を行い、この点が原因である事故や負傷事例は発生していませんが、当社お客様の最大の益を考え、部品の自主回収を実行することに致しました。

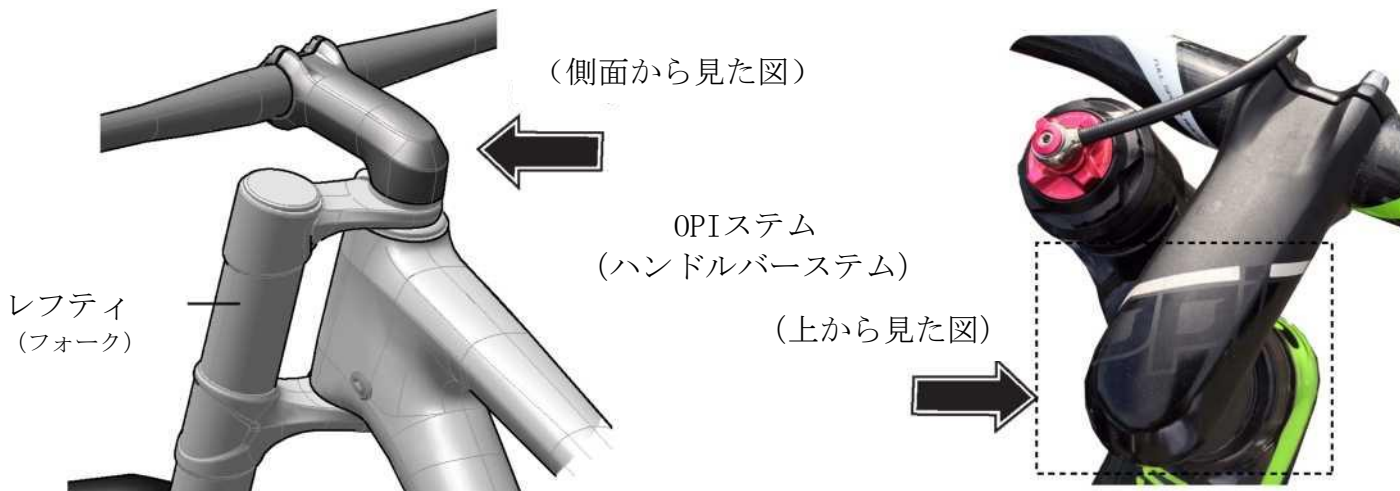
キャノンデールの2011年モデルから2015年モデルのうち、特定のマウンテンバイクに OPI ステムが使用されています。補修部品として販売された OPI ステムも存在します。試験により、OPI ステムの底部とステアリングチューブの上部の間の接続の特性により、耐用年数が短くなることが判明しています。これは、フォークの破損につながることもあり、深刻な事故や怪我を引き起こす危険があります。この危険を避けるため、特別なウェッジキットを OPI の装備されたフォークすべてに取り付ける必要があります。このキットは、OPI ステムとステアリングチューブの間のねじ接続をロックして補強するものです。この措置により、耐用年数が通常通りに回復します。

リコールの対象となる OPI ステムがついているかどうかは、ステムの上部に「OPI」という言葉が印字されているかどうかで確認することができます。対象モデルである場合、バイクの使用を直ちに停止し、最寄りのキャノンデール正規ディーラーで部品の交換を行ってください。料金はかかりません。まず電話で予約をお取りください。お約束の時間にお越しいただき、終了後はすぐにお帰りいただきたいと思います。新しい部品の取り付けにかかる時間は、最大でも30分です。バイクの使用を一時中断していただかなければならず大変ご迷惑をおかけしますが、お客様の安全を第一に考えてのことですので、よろしく願いいたします。

ご質問等がおありの場合は、次の連絡先にお問い合わせください：#を挿入。

安全性を考えたリコールに関する通知

ワンピースインテグレーション (OPI) システムを装備したキャノンデールマウンテンバイク2011年～2015年モデル



お客様のバイクに OPI システムが使用されている場合、お客様のバイクが対象となります。

リコール対象製品： 本リコールの対象となるのは、2011年から2015年までに製造されたキャノンデールマウンテンバイクの中で、「OPI システム」および「OPI ステアラー」として知られるコンポーネントがレフティフロントフォークに装備されているバイクです。

OPI ステアラーがリコールの対象となっています。ステアラーは、ヘッドチューブ内に取り付けられているため、外からは見えません。レフティフォーク、および OPI システムはリコールの対象とはなっておりません。

- OPI システムには、「OPI」というロゴが黒字で印字してあり、文字の上には白い線があります。OPI システムは表面が滑らかで、バイクのヘッドチューブの場所で丸くなっています。
- OPI システムにはステムボルトはなく、ハンドルバーボルトが4個ついています。

リコールの対象となっているかを確認する際には、上の図を参考にしてください。

製造業者/

Cycling Sports Group Inc. (コネチカット州ウィルソン)

輸入元/

危険：

本リコールの対象となっている OPI ステアラーの耐用年数は減少し、時の経過とともにフォークランプやボルトの破損につながる恐れがあります。破損した場合、ライダーはコントロールできなくなって事故につながる可能性があります。

措置：

OPI システムの装備されたバイクを使用されているお客様は、バイクの使用を直ちに停止し、最寄りのキャノンデール正規ディーラーにご連絡ください。キャノンデールディーラーでは、バイクの OPI システムおよびフォークに破損が生じていないかどうかを検査し、OPI システムステアラーに補強部品、および新しいレフティランプボルトを取り付けます。

以下からキャノンデール正規ディーラーをお探しくささい：www.cannondale.com